

作田製量 環境行動計画

取組方針

作田製量は、『日頃の小さな工夫の積み重ねが、大きな技術の改善につながる』ことをモットーに、量の製造販売業をしています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組みを社員一丸となって推進します。

①事業活動に伴う省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）

②製造部門、事務部門における廃棄物の削減及びリサイクルの推進

この方針に基づいて、社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 29 年 2 月 28 日

作田製量

代表取締役 作田 雅樹

3. 環境負荷の低減目標

30年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも28年度です。)

【目標1】二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



【目標2】廃棄物の適正な管理を行い、廃棄物の削減とリサイクル推進に努める。

【目標3】コピー用紙使用量を1%削減する。



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】二酸化炭素総排出量の削減

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② ノー残業デーを設ける。
- ③ 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。
- ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑤ カーテン、ブラインドを利用して室内への日射と通風を調節する。
- ⑥ エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセルほか)
- ⑦ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ⑧ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
- ⑨ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。
- ⑩ 不要な荷物は積まないようにする。

【取組2】廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する。
- ③ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ④ 紙のリサイクルに努める。
- ⑤ 製品をできるだけ長期間使用する。

【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。

- ③ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。
- ④ 社内資料は両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、環境保全活動の責任者が中心となって、1年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組みの実施状況をチェックします。